

メーカーならではの 価格・精度の小型加工機

寿貿易

小型の旋盤やフライスのメーカーである寿貿易。名前から、商社として海外メーカーの機械を輸入・販売するとういうようなイメージを受けるが、同社の場合、少し事情が異なる。同社はもともと、北海道にある札幌工作機械という生産現場で使う加工機械メーカーの東京営業部だった。今から50年ほど前のことだ。当時は国産の加工機械よりも、ドイツ、イギリス、スイス、アメリカといったメーカーの機械の方が優れていた。そのために、機械製造と平行して輸入も行ない、国内販売していた。その輸入販売部門が独立して

きたのが、現在の寿貿易というわけだ。そうした輸入業者の中で知ったのが、オーストリアの機械メーカーが製造する小型旋盤とフライスだった。だが使ったのが半信半疑で輸入してみたものの、まったくと言っていいほど売れない。しかも意外な形で転機がやってきました。鉄道模型関係の本に勧められたので、すこし引き合いがきたのだ。

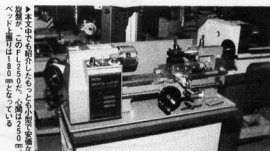
半信半疑でわずかの数を輸入していたのだが、このことでマーケットが存在することを確信し、本格的に販売を開始。現在に至っている。そして、

に、国内の製造技術も力を付け、世界トップレベルになった。札幌工作機械のブランドである「メカニクス」製品も高品質の加工機械となり、そうして製造技術を持っていることから、自分たちで作ってみようかと本格生産を始めた、という背景もある。

国内生産も割とそうだ。同社のホームページを見ると分かるが、同じ商品でもAタイプ、Bタイプと2種類用意されているものがある。これは「海外から輸入しても精度がしつかり出ないものが多いので、精度調整したものがAタイプ、ユーザーさんの方で調整できるという方にお譲りするが安価なBタイプ」と石黒さんは説明する。小型旋盤のFL260Eで、Aタイプ11万5,000円、Bタイプで9万4,500円共に運賃込み。非常にリーズナブルだ。



▶リーズナブルなFLシリーズで1万円台から始めるFL100。基本セットでAタイプが14万5,000円、Bタイプ10万円



▶本文中でも紹介した400E。心筒400mm、ベッド上張り250mm



▶安価ながら実用性が高い普及機の一つ。このシリーズ、これほどのM/A価格にはほぼ上り40万円から50万円



▶ユーザーからのリクエストで、旋盤やフライス以外の小物も揃えている。これはハンディタイプのプレス機だ



▶リーズナブルなFLシリーズで最大サイズがこの400E。心筒400mm、ベッド上張り250mm



寿貿易

〒135-0031
東京都江東区佐賀1-11-11
TEL.03-3642-3095
<http://www.kotobuki-mecanix.co.jp>
ショールームとしても機能している寿貿易本社。40年以上の歴史が証明しているとおり、機械の確かさ、アフターサービスの充実がウリだ。ホームページでは、旋盤やフライスの使い方まで紹介している。